

えぐちーず (部内資料)

連絡先 日本共産党区議団控室 世田谷区世田谷4-21-27 区役所第2庁舎内

Tel 5432-2791 fax 3412-7480

e-mail アドレス eguchi@jcp-setagaya.jp

ブログ URL <http://e51d41egc.blog137.fc2.com>

ホームページ <http://egucheese.net/link>
2011年8月11日

原水爆禁止世界大会 in長崎に参加しました

今回の参加のために、地域・関係者の皆様から、113,955円の派遣カンパを頂戴しました。(参加費は12万円でした)。

本当に有難うございました。

大会には、日本各地と世界各国からのべで約16,000人以上が集まりました。また、全国各地で集めている「核兵器廃絶のアピール署名」が54万筆集まったことが報告されました。

初日には、政党からは共産党志位委員長が挨拶し、「核兵器廃絶と原発を無くす運動には共通点がある。核による被害者を出してはならない、という一致点で連帯しよう」と述べられました。

また、福島原発被害者の方が「これ以上の被曝者を作らないため、原発廃止運動そして補償問題も頑張りたい。」と発言されていました。

新しくなった「原爆資料館」も見学しました。

大会では、「もう原発はいらない!」「核兵器はなくそう!」というパワーにあふれていました。私も、その思いを体現するべく、この地域の皆様とがんばっていきます。



分科会報告 しんぶん赤旗でもお馴染みの、日本大学講師で放射線防護学の野口邦和先生が講義されました。

内容は、「福島原発事故と放射線汚染・放射線被曝」です。

以下、主な概要です。

◎ 具体的な除染方法、日常生活で気をつけること

- ・ 染量が高いときは、徹底的に除染を行う。
例えば校庭だったら・表層数センチ土をはがす⇒穴を掘って、それをうめる⇒さらに、その上から土をかぶせる。
- ・ 野菜やお米等に付着している放射線物質を減らしたいときは、「洗う」「茹でる」「焼く・煮る」ことが有効。

これらに関しては、野口先生が下の本を出しています(薄いブックレット、絵も多くて読みやすい)

※「放射能汚染から家族を守る食べ方の安全マニュアル」青春出版社 952円+税

※「放射能からママと子どもを守る本」法研 1200円+税

◎ 低線量被曝の発ガン性問題について

- ・ トータル線量が年間10ミリシーベルト以下の地域では、避難よりそこに留まり、トータル線量を低く抑える工夫をして生活する方が、家族全体の苦痛とストレスがはるかに低いのではと考える。
- ・ 年間100ミリシーベルト以上では、発ガンリスクは高まるデータはあるが、それ以下では、信頼出来るデータは無い。科学者により「100ミリシーベルト以下」についての考えは様々で、これは科学者個々の人生観、安全への考え方等により変わるのだろう。
- ・ 「意味のない被曝・無駄のない被曝はしない」という放射線防護学の原則にたち、トータル線量を低くする努力が求められている。

祖師谷地域で区政報告会 を開きました

7月31日祖師谷地域の区政報告会を開きました。小雨の中、18名の方がいらして下さいました。

準備して下さいました支部の皆さま、参加して下さいました皆さま、ありがとうございました。

質疑応答では、
「くるりんバスの増便をしてほしい。」
「区民農園を利用している。区が値上げしようとしているらしいが、高齢者はこれ以上の利用増は辛い。止めてほしい。」
「先日、火事騒ぎがあったが、狭い道には消防車が入れなかった。いざというとき困るのでは。」
等々たくさんのご意見・ご要望を頂戴しました

会には、福島県楢葉町から避難し、祖師谷に転居された方（80代）のお話もありました。

「避難所では、十分な食事が取れなかった、南に逃げろ！と言われて、着のみ着のまま東京に逃げてきた、

地元と違い誰も話す人がいない、環境の激変で病気になり、東京で入院をした、

地元の社協のサロンに出席したことから、皆さんと知り合いになれてうれしい」等実態をお聞きしました。

いま、私はこのご家族から住居のことで相談を受けて、祖師谷支部と地域の方と共同して、問題解決のために行動しています。

すべての被災者の方が、安心して避難生活が出来るように、制度を作る・見直す必要があると思います。



保坂区長に 予算について 要望しました



申し入れ内容は、

1、補正予算について

主な内容は、

- ・木造住宅耐震改修助成事業、住宅リフォーム助成制度創設などの震災対策
- ・区民の不安の声にこたえるため、放射線測定器の増加を。
- ・太陽光パネルの設置促進
- ・0金利融資の継続と倒産防止特別資金融資な活用
- ・がん検診の無料化
- ・二子玉川開発2期工事の補助金を出さないこと等要望しました。

2、来年度予算について

「行政財政改革を勧めれば区民の期待を裏切ることになること、区長最初の仕事が区民の生活・福祉の切り捨てにならないように」と要請しました。

区長は、議会の状況を考慮しつつ検討したい、といった回答でした。

＊お知らせ＊

私は、これからお盆休みのため、不在になります。

その間のお困りごと・ご相談は、世田谷地区委員会でお受けします。

電話（3427）1225

ファックス（3426）7229

お気軽にご連絡ください。